

1 経済日誌

2018年8月～2018年11月

全 国		和歌山・大阪	
8月7日	給与 11 カ月連続プラス 厚生労働省が発表した6月の毎月勤労統計調査によると、1人あたりの現金給与総額は前年同月比3.6%増の44万8919円で、11カ月連続のプラスとなった。	8月1日	堺市観光客、初の1000万人 堺市は、2017年度に市外から訪れる観光客数の推計値が1055万5千人となり、1999年度に調査を開始して以来初めて1000万人を突破したと発表した。
8月8日	経常黒字 2%増10兆円 財務省が発表した2018年上半年(1～6月)の国際収支統計速報によると、経常収支は10兆8411億円の黒字となった。前年同期比2%増で、上半期として3年連続で10兆円を超えた。	8月8日	三菱地所がワーケーション事業に参画 三菱地所は、仕事(ワーク)と休暇(バケーション)を組み合わせた働き方、ワーケーション事業の参画を発表し、滞在先として誘致を進める和歌山県、白浜町と進出協定を締結した。
9月3日	設備投資 12.8%増 財務省が発表した2018年4～6月期の法人企業統計によると、全産業(資本金1千万円以上、金融機関を除く)の設備投資は前年同期比で12.8%増となり、伸び率は約11年ぶりの高水準となった。	8月29日	和歌山県内 輸出入総額 3期連続増 大阪税関和歌山税関支署は、2018年上半年(1月～6月)の県内貿易概況を発表した。輸出入を合わせた総額は、前年同期比7%増の4289億円で3期連続の増加となった。
9月6日	北海道胆振東部地震が発生 北海道南西部の胆振地方を震源とするマグニチュード6.7の強い地震が発生、厚真町で震度7を観測した。人的被害のほか、産業・交通・住宅インフラ全般に深刻な被害が出ている。	9月3日	和歌山信愛大学の来春開校が決定 和歌山市は、本町小学校跡地(同市住吉町)への和歌山信愛大学教育学部の設置について、文部科学省から認可を受け正式に2019年4月から開校することが決まったと発表した。
9月18日	基準地価 27年ぶり上昇 国土交通省が発表した2018年7月1日時点の基準地価は、住宅地や商業地、工業地などを含む全用途の全国平均が前年比で0.1%上昇した。全用途が上昇するのは、1991年以来、27年ぶり。	9月4日	台風21号、関西で猛威 非常に強い台風21号は、近畿や北陸地方を縦断し、近畿地方を中心に記録的な暴風や高潮となり、交通機関の運休や工場などの操業停止のほか、広範囲で企業活動に影響が出ている。
10月16日	訪日客 5年ぶりマイナス 観光庁は、9月の訪日外国人客数が前年同月比5.3%減の215万9600人だったと発表した。自然災害の影響を受け大きく減少、伸び率がマイナスに転じたのは2013年1月以来、5年8か月ぶり。	9月18日	大阪府内の商業地 5年連続上昇 大阪府が発表した2018年7月1日時点の府内の基準地価は、住宅地が前年比0.2%増で10年ぶりに上昇に転じた。商業地は5.7%増で6年連続のプラスとなり、上昇幅は拡大した。
10月31日	新TPP 12月30日発効 経済再生担当相は、米国を除く環太平洋経済連携協定参加11カ国の協定「TPP11」が12月30日に発効すると発表した。発効により世界の貿易額の15%、世界のGDPの13%を占める自由貿易圏が誕生する。	10月18日	近畿の輸出 記録的減 大阪税関が発表した9月の貿易概況で、近畿2府4県からの輸出が前年同月比でマイナス24.5%となり、阪神大震災やリーマン・ショックに次ぐ規模の減少幅となった。台風21号の被害で関空の一時閉鎖が主因。
11月8日	原油高 経常黒字8.3%減 財務省が発表した2018年4～9月の国際収支統計(速報)によると、原油高の影響などから経常収支は前年同期に比べ8.3%減少し10兆6473億円の黒字となった。	10月31日	和歌山県内人口1.09%減 和歌山県は、10月1日時点の県内の推計人口が93万4051人で、前年から1万269人(1.09%)減少したと発表した。23年連続の減少で、率、数ともに過去最大。
11月14日	GDP 2四半期ぶりマイナス 内閣府が発表した2018年7～9月期の国内総生産(GDP)速報値は、物価変動の影響を除いた実質の季節調整値で前期比0.3%、年率換算で1.2%の減となった。	11月23日	2025年 大阪万博決定 2025年国際博覧会(万博)を大阪で開催することが、パリで開かれた博覧会国際事務局総会で決定した。大阪での大規模万博の開催は、1970年以来55年ぶり。

2 地域開発のうごき

2018年8月～2018年11月

和歌山県内

8月1日 「ファーストキャビンステーション 和歌山駅」がオープン

JR西日本とファーストキャビンが共同で開発した「ファーストキャビンステーション和歌山駅」が、和歌山駅前のホテルグランヴィア6階にオープンした。日本初の「ホテル・イン・ホテル」となる。

8月23日 橋本市学校給食センターが開所

橋本市学校給食センターが同市隅田町に今春完成し、開所式が行われた。9月3日から稼働し、市立小、中学校計20校の児童・生徒、教職員ら約4800人の給食を賄う。

8月28日 県立医大薬学部 実施設計完了 来年着工へ

和歌山県は、2021年4月の開学を目指す県立医大薬学部について、実施設計が完了したと発表した。伏虎中学校跡地をメインのキャンパスとし、11階建てと5階建ての校舎2棟を建設する。

9月18日 白浜町に内閣府のサテライトオフィス開設

内閣府は、地方創生推進室の職員が勤務する「和歌山サテライトオフィス」を白浜町内に設置した。サテライトオフィスは、今年度全国で8カ所に設置され、和歌山県は5番目となる。

10月9日 紀陽除虫菊が海南市に工場を増設

和歌山県は、紀陽除虫菊が海南市に新工場を増設するにあたり、立地協定を締結すると発表した。土地を除く投資額は約5億4200万円、14名の新規雇用、2019年4月の操業開始を予定。

10月11日 セイカが和歌山工場を着工

セイカは、和歌山市西浜において「セイカ和歌山工場」および「セイカ未来創造館（研究棟）」の建設に着工した。2020年春の完工を予定し、製品の安定供給と技術力向上を目指す。

10月12日 田辺市新庁舎 指名型プロポーザルを公告

田辺市は、「新庁舎基本設計・実施設計業務」の指名型プロポーザルを公告した。本庁舎と市民総合センターに分散する市庁舎を、同市東山に移転し統合する。

10月17日 海南市に市民交流施設(仮称)を新設

海南市日方の旧市役所跡地に新設する市民交流施設(仮称)の安全祈願祭が行われた。交流施設は、4階建て、延べ床面積約7900平方メートル、2020年4月の完成を目指す。

11月17日 紀南広域の廃棄物最終処分場が起工

紀南地方10市町村でつくる紀南環境広域施設組合が建設する広域ごみ最終処分場の起工式が田辺市元町で行われた。完成予定は2020年度末で、2021年度中の供用を目指している。

11月28日 すさみ町、串本町及び田辺市にホテルを開設

積水ハウスとマリオット・インターナショナルは、地方創生事業「Trip Base 道の駅プロジェクト」として、すさみ町、串本町及び田辺市にロードサイド型ホテルを開設すると発表した。

3 地域開発のうごき

2018年8月～2018年11月

大阪府内

8月1日 御堂筋に101メートルビル完成

大阪・御堂筋の高さ規制が撤廃されてから初めて、100メートルを超える三菱UFJ銀行大阪ビル（同市中央区）が完成し、竣工式が開かれた。地上21階建てで、高さは約101メートル。

8月7日 大阪最大級 約1000室のホテル

阪急阪神ホテルズは、JR大阪駅北側に建設中の「(仮称)ヨドバシ梅田タワー」内にホテルを出店すると発表した。大阪最大級の約1000室を備え、2020年初春に開業する予定。

8月22日 大阪駅周辺最大規模の複合タワーマンション

積水ハウスは、大阪・梅田エリアで地上51階建ての複合タワーマンションを建設すると発表した。分譲マンション871戸に加え、商業施設や保育施設が入り、完成は2022年1月を予定。

9月19日 岸和田市のホテルが着工

ルートインジャパンは、岸和田市に計画していたホテル「(仮称)ホテルルートイン東岸和田駅前」を着工した。客室数は231室で、2019年9月の開業を予定している。

9月25日 東梅田駅近隣でホテル開発

関電不動産開発は、大阪市北区曾根崎1丁目でホテルを開発すると発表した。建物は17階建てで、客室数は253室、2020年7月の開業を予定している。

10月17日 「なんばスカイオ」が開業

南海電気鉄道は、難波駅直結の複合高層ビル「なんばスカイオ」を開業した。地上31階、地下2階建てで、オフィス、医療施設、商業サービス施設、ホール・カンファレンスが入る。

10月18日 大阪中之島美術館運営はPFI事業を採用

大阪市は、2021年度に開館予定の大阪中之島美術館の施設運営におけるPFI事業（コンセッション方式）の実施方針（案）を公表した。美術館・博物館における同事業は全国で初。

11月12日 りんくうタウンエリアで最大規模のホテル開発

東急リバブルは、同社が一部出資する特定目的会社が「ホテルWBF グランデ関西エアポート」を建設すると発表した。地上22階建て、客室数は700室、2020年7月の竣工を予定。

11月13日 「おおさか東線」来春全線開業

JR西日本は、来春の全線開業を目指す「おおさか東線」（新大阪－久宝寺）の運航体系を発表した。放出－久宝寺間は2008年に先行開業、来春に新大阪－放出間に4つの新駅を設置。

11月15日 「名鉄イン」が関西圏初進出

名古屋鉄道グループの名鉄インが、宿泊特化型ホテル「(仮称)名鉄イン新大阪」（東淀川区東中島）を開業すると発表した。関西圏は初進出となり、2020年5月の開業を目指す。

4 関西国際空港

2018年8月～2018年11月

関西国際空港

8月1日 関空－釧路線を新規就航

ピーチ・アビエーションは、LCCとして初めて関空－釧路線の定期便を就航させた。ピーチ・アビエーションの関空発国内線は、12路線目で、同路線は毎日1往復を運航する。

8月22日 関空－バンコク線を新規就航

関西エアポートは、タイのLCC・ノックスクートが関空－バンコク線を10月29日より週4便で新規就航すると発表した。同社の関空への就航は今回が初めて。

8月30日 関空－ダナン線を新規就航

関西エアポートは、ベトナム航空が関空－ダナン線を10月28日よりデイリー便で新規就航すると発表した。同社の関空とベトナムを結ぶ路線はホーチミン、ハノイに続き3都市目となる。

9月6日 関空 国内線を一部再開

関西エアポートは、4日の台風21号の高潮で滑走路などが冠水し、連絡橋が損傷した関空の運航について、7日から国内線の運航を第2滑走路で一部再開すると発表した。

9月15日 関空への鉄道18日に再開

JR西日本と南海電気鉄道などは、関空と対岸を結ぶ連絡橋での鉄道運行を18日始発から再開すると発表した。鉄道の運行再開により、関空へのアクセスは大幅に改善される。

9月20日 関空ターミナル 全面再開

関西エアポートは、台風の被害が大きかった第1ターミナルを21日に全面再開すると発表した。全面復旧により、国内・国際線は災害前のほぼ100%の旅客便が運航される予定。

9月25日 関空－ロンドン線を新規就航

英ブリテイッシュ・エアウェイズは、関空－ロンドン線を2019年4月1日より週4便で就航すると発表した。同路線の直行便は、日本航空が運航を休止した2009年以来、10年ぶり。

10月30日 関空－台北線を新規就航

関西エアポートは、マレーシアのLCC・エアアジアXが関空－台北（桃園）線を2019年1月30日より週4便で新規就航すると発表した。

11月2日 関空－大連線を新規就航

関西エアポートは、春秋航空が関空－大連線を11月25日からデイリー便で新規就航すると発表した。今回の就航により、同社の関空発着路線は8路線目となる。

11月2日 関空－西安線を新規就航

関西エアポートは、四川航空が関空－西安線を11月30日より週4便で新規就航すると発表した。今回の就航により、同社の関空発着路線は成都に続き2路線目となる。